

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	高級レストラン (経営者)	販売量の動き	・テイクアウトを中心に、会食の機会も増えてきている。
	◎	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・東京都に緊急事態宣言が再発出されているが、新型コロナウイルスのワクチン接種を終えた高齢者や若いカップル、家族連れの様子がみられる。春頃は売上が25%程度しかなかったが、今月は50%程度まで回復してきている。
	◎	遊園地（職員）	来客数の動き	・今月も3か月前も緊急事態宣言下ではあるものの、新型コロナウイルスのワクチン接種者の増加や、夏休み期間であることが好影響となり、来客増となっている。
	◎	その他サービス [葬祭業]（経営者）	お客様の様子	・1人暮らしの弟が亡くなり、嫁いだ姉2人が送る場合、「お骨」は持って帰れないため、49日で永代供養墓に入れるというような葬儀が増えている。
	○	一般小売店 [家電]（経営者）	販売量の動き	・猛暑と東京オリンピック効果なのか、エアコン、冷蔵庫、テレビ等の動きが良い。
	○	スーパー（店長）	来客数の動き	・4月以降、来客数は前年同月と比べて、毎月上向いている。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスがやや収束してきたのか、暑くなり冷たい物が売れてきたので、悪い状態ではないと思っている。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・東京オリンピックを自宅観戦するためか、飲物を中心に、買上点数が増加している。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・夏ということもあり、売上は増えている。
	○	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・梅雨明けが前年よりも早かったため、やや良くなっている。
	○	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・首都圏の緊急事態宣言再発出にもかかわらず、連休中は満室が続き、8月の予約も好調である。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・新型コロナウイルスのワクチン接種状況や当県の感染者数の減少により、徐々に客足が戻ってきている。また、こうした状況なので、Go To Eatキャンペーンの再販、県民向けの宿泊割引が実施され、更に客数が増加傾向にある。1か月を通してみると回復傾向にあるが、徐々に感染者数が増加してきたことで、少しずつ客足が鈍ってきている。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・7月の4連休1～3日目の宿泊稼働率は、前年11月以来の80%超えである。やはり連休が大きく影響している。今月からビアガーデンを開始したが、前年同月より来客数が20%増加している。3か月前に比べて、やや良くなっている。
	○	観光名所（職員）	来客数の動き	・自粛疲れなのか、梅雨明けと同時に観光客が増え、客足が戻りつつある。今月の連休は、入場規制するほどの混雑である。売上も新型コロナウイルス以前の水準には達していないものの、春と比較すれば大幅に回復している。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、夏休みには観光客が多少増えるのではないかと淡い期待をしていたが、見事に外れている。今年も夏シーズンは駄目だろう。
□	一般小売店 [家電]（経営者）	お客様の様子	・東京オリンピック効果を期待した部分もあったが、効果は全くない。梅雨明け後の猛暑で多少、季節商材の動きがみられる。新型コロナウイルス禍の生活に慣れたのか、都会とは違って人や商材の動きは静かである。	
□	スーパー（経営者）	来客数の動き	・梅雨明けが早く、夏物商材は好調である。新型コロナウイルス禍の東京オリンピック開催で、巣籠り需要も前年同様で、追い風となっている。	

□	スーパー（経営者）	来客数の動き	・東京オリンピックも始まり、選手の試合を観戦して、勇気と希望をもらいながら日々の生活をしている。先日、新型コロナウイルスのワクチン接種券が届いたが、実際に打てるのは、11月頃かもしれない。地区の盆踊りや秋祭りも中止になっている。令和4年春頃からマスクのない生活ができるのではないかと希望を抱いている。売上は前年比6%減、来客数は同2%減となっている。
□	コンビニ（店長）	お客様の様子	・今月は比較的気温が高めに推移したお陰で、水物や冷たい商材が良かったものの、その分固形物が余り伸びず、プラスマイナスでは変わっていない。
□	家電量販店（店長）	販売量の動き	・梅雨明け時期が前年と異なり早いため、季節商材の動きも早い。
□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス禍による自粛ムードから、新車販売は回復傾向にある。来場者、商談数は共に増えており、新車受注も順調に伸びている。ただし、半導体不足の影響で新車供給が滞っており、売上が伴っていない。
□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染者数が全国的に増加傾向にあるなか、自動車を利用した旅行等に出かける方が多いこともあり、車検、一般整備は順調に推移している一方、車両販売は低迷している。
□	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・首都圏の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、他県との往来自粛が求められている。当店では県内ナンバー車以外は店内飲食提供不可と案内を出し、ホームページでも告知しているため、それなりに影響は出ている。
□	スナック（経営者）	お客様の様子	・客の様子と回答したが、来客の動きなどいろんな原因が重なっており、本当に良くなる傾向がない。どうしたらよいか迷っている。
□	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・旅行業界は一時回復傾向がみられたものの、再度の緊急事態宣言発出により、客の動きが止まって受注も減少している。企業の出張は回復がみられず、団体旅行受注に関しては皆無である。夏休み期間の予約も減少している。
□	通信会社（経営者）	お客様の様子	・東京オリンピックも開幕したが、オリンピック効果はほとんどなく、新規加入は低調である。
□	通信会社（社員）	販売量の動き	・通信サービスは比較的安定した加入があるものの、放送サービスは依然として低調である。東京オリンピック関連の問合せも、特別多くはない。
□	ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・大きな変動はない。
▲	商店街（代表者）	来客数の動き	・街のいろいろな売出しも、ほとんど中止になっている。試しに街で売出しをしてみても、ほとんど客の出がない。今後どうなるか少し心配である。
▲	自動車備品販売店（従業員）	単価の動き	・新型コロナウイルスの感染者数が再び増えていることもあり、来店客数もやや減っている。ただし、それ以上に客単価の落ち込みが大きく、やや悪くなっている。
▲	タクシー運転手	販売量の動き	・東京オリンピックの中継を見ているせいか、夜の動きが悪い。前月は前年比105%くらい行ったが、今月はやや悪く、同比100%ぎりぎりである。
▲	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・新規の依頼は非常に少なくなってきた。
×	商店街（代表者）	来客数の動き	・東京オリンピックの効果は7月の祝日が増えただけである。その祝日も新型コロナウイルスと猛暑で、来街者は全くない上に、通勤者も少ないため、小売店も休業する店が多く、街が死んだようになっている。

	×	その他専門店 [酒] (店長)	販売量の動き	・東京オリンピックが始まって盛り上がっているのとは真逆に、この週末、さらにオリンピックが終わる頃も、非常に景気が悪くなる予感がする。新型コロナウイルスの東京都の感染者数も3865人ということで、県外客も減るだろうし、今後1～2週間で、感染者数が過去最大のピークがくるという感覚と、この1年間のコロナ疲れ、酒に対する非常に厳しい目が、いよいよ小売にもきたと実感している。
	×	スナック (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、人が街に出ようになると信じて耐えてきたが、ここに来て、がくっと人が出なくなり、ちょっと心が折れそうになっている。酒を飲みに行くなど会社から通達が出ているところは、会社からの指示が解除されるまでは戻らない。ワクチン接種が終了したら解除するように国から言ってもらいたい。
	×	その他レジャー施設 [ボウリング場] (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が収まりを見せるどころか拡大している状況で、ワクチン接種もなかなか進まず、経済状況が良い方向へ向かうとは考えられない。夏休みに入ったが、客の動きは悪く、団体の利用もない状況が続いている。緊急事態宣言の延長や対象地域の拡大等、外出自粛傾向が更に強くなれば、一層厳しくなる。
企業 動向 関連 (甲信越)	◎	金属製品製造業 (総務担当)	取引先の様子	・半導体業界は好調である。
	○	金融業 (調査担当)	取引先の様子	・4～6月期の景況調査は、製造業の大幅な改善により全体を押し上げている。製造業は海外の半導体需要の増加を受け、電子部品デバイス等を中心に好調を維持している。一方、新型コロナウイルスの影響で、非製造業の改善幅は小さく、業種間格差が更に拡大している。
	□	食料品製造業 (製造担当)	取引先の様子	・夏の時期になっても、スーパーの販売点数はそれほど変わらない。
	□	食料品製造業 (営業統括)	受注量や販売量の動き	・首都圏の新型コロナウイルス患者が日増しに増加し、緊急事態宣言が再延長される状況のなかで、酒類関係の消費は大変厳しい。また、出荷数、工場見学者数も減少し、苦戦している。
	□	食料品製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・全国的に気温が上昇し、市場の動きも良くない。当社の売上も前年と比べて減少傾向にある。
	□	窯業・土石製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・夏休み期間に入り、旅行者の体験ワークショップ予約が幾らか増えているが、製品受注はない。
	□	電気機械器具製造業 (経営者)	取引先の様子	・活発な生産案件はあるものの、電子部品の納入が悪く、調整が必要な状態である。
	□	金融業 (経営企画担当)	取引先の様子	・3か月前と比べても、多くの取引先で売上状況等は横ばいである。回復し、売上増加に向かうには、新型コロナウイルスの収束が前提条件だと考えている。ゼロゼロ融資等による資金注入の効果が薄ければ、景気回復は見込めない。
	▲	その他製造業 [宝石・貴金属] (経営者)	受注量や販売量の動き	・今月も緊急事態宣言が発出され、催事はどれも集客不振である。新型コロナウイルスのワクチン接種を終えた客が、徐々に店舗に顔を出してくれるようになってきているが、依然として売上は戻らない。9月初めに、秋冬に向けた大規模な宝飾展示会が企画されているが、各社とも在庫がさばけておらず、新作をためらっている。
	▲	建設業 (経営者)	受注価格や販売価格の動き	・新型コロナウイルスの影響が長期化し、自宅から出る人が少ない。木材も不足しており、建築工事の延期が増え、低迷している。
	×	*	*	*
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・全体的に新規求人は増加してきており、宿泊や飲食サービス業からも求人が出てきている。

V T H 25 /	□	人材派遣会社 (営業担当)	それ以外	・行政主導の短期的な入力等業務に、市内だけでも数百名が採用されている。秋で期間終了するため、求職者は時給が高いところへ異動している。おかしな現象であり今後を注視している。
	□	求人情報誌製作 会社 (経営者)	求人数の動き	・7月は、周辺企業の求人募集広告掲載件数が増加している。業種はスーパー、医療、介護、サービス業等である。1～2か月前と比べると、製造業も微増している。
	▲	*	*	*
	×	—	—	—